

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
小杉地区

令和4年2月

富山県射水市

1. 数値目標の達成状況の確認 (確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1 公共公益施設の利用者数	人/年	61,541	73,000	46,816	確定		あり	43,849	R3年8月		新型コロナウイルス感染症の影響により予想以上に利用者減が続いたため。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	数値目標より低い水準であるが、公共・公益施設の集約化が図られ、利便性・公的サービスの質が向上し地域住民の交流促進に貢献できた。
					見込み		なし						
指標2 地区内人口	人	8,380	8,380	8,760	確定	○	あり	8,836	R3年8月	○	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	住みよい生活環境が整ったことで、定住人口の確保と人口増加に繋がったと評価できる。
					見込み		なし						
指標3 歴史文化施設利用者数	人/年	6,638	6,640	2,996	確定		あり	3,309	R3年8月	-	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	数値目標より低い水準ではあるが、利用者数の減少抑制という目的は達したと評価できる。
					見込み		なし						
指標4					確定		あり		R 年 月		-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
					見込み		なし						
指標5					確定		あり		R 年 月		-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
					見込み		なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				R 年 月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				R 年 月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				R 年 月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	コンパクトで魅力あるまちづくりの継続・推進	令和3年3月に策定した小杉駅周辺地区まちづくり基本構想を推進し、地域の賑わい創出を図り、魅力あるまちづくりを推進するため、本事業で整備した射水市民交流センター(いみず市民交流プラザ)を利用し、市内高等教育機関の学生で組織する「いみず学生のまちづくり推進会議」の学生委員が以下のイベントを企画・実施した。 ・旧北陸道こすぎ商店街スタンブラー ・旧北陸道こすぎ商店街のテイクアウト販売 ・旧北陸道の歴史を伝える写真展 ・レモンプロジェクト募金活動	地域住民をはじめ、親子連れや学生グループなど多くの来場者があり、小杉駅周辺地区の賑わい創出を図ることができた。	高等教育機関が集積する本市の特徴を生かしたまちづくりを引き続き推進する。
	旧北陸道に残る歴史・文化の効果的・継続的活用	旧北陸道で毎年秋にイベントを開催している、旧北陸道アートin小杉については、実施を予定していたがコロナウイルスの影響で急遽中止となった。		旧北陸道に残る歴史・文化の効果を継続できるイベントを引き続き継続していけるように、地元のまちづくり協議会と連携し、施設の活用や継続的なまちづくり活動を展開していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	公共交通による拠点施設との連絡の強化	コミュニティバスの路線が最も多く接続している小杉駅南口において、様々な施設へアクセスできるように、公共交通案内板をわかりやすく改善した。	小杉駅でのコミュニティバスの乗継の利便性が向上し、様々な施設へのアクセスがしやすくなった。	小杉駅南口への雨等に対応した待合機能の整備。
	下条川の親水環境・景観の充実	・本事業で再整備した公園(下条川ポケットパーク)を利用して地元のまちづくり協議会による桜まつりが開催され、本事業で同時に整備した船着場を利用した下条川花見遊覧船の運航(2日間)も実施した。 ・同上の船着場を利用して、小杉と新湊を結ぶ観光船を令和3年8月から11月の約3ヵ月間、実証運航を行った。 8/16-9/26は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い運休 ・11月下旬に射水市民交流センター(いみず市民交流プラザ)にて2月中旬まで小杉駅近周辺の下条川散策路等をイルミネーションで豪華に演出するツウインクルナイトin射水2021の点灯式を地元保育園児を交えて行った、	・下条川ポケットパークには出店立ち並び、たくさんの親子連れが楽しみ賑わいを創出させることができた。下条川花見遊覧船は、下条川の両岸に咲き誇る桜を普段とは違った目線で鑑賞することができ好評であった。 ・実証運航した観光船の乗船者数は140人で乗船者のうち8割以上が県内在住の方であった。アンケート結果では7割以上の方に満足と回答いただき、概ね高評価であった。また、この観光船は、観光利用だけでなく、小学校の課外学習にも活用された。 ・ツウインクルナイトin射水2021の点灯式は約300人の親子連れが集まり、川に反射するイルミネーションが冬の下条川の景観を更に充実させた。	・今後もイベントを引き続き継続していけるように、地元のまちづくり協議会と連携し、整備施設の活用や継続的なまちづくり活動を展開していく。 ・観光船利用者アンケートでは、観光利用を中心に一定の需要があることを把握できたことから、今後、桜の開花時期など、下条川の景観や見どころを意識した季節運航等についても検討していきたい。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項